

第 2 回 新開成中学校・新陽明中学校再編準備委員会
会議録

日 時：令和 4 年 11 月 8 日（火）午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

場 所：結とぴあ 3 階 305・306 号室

第2回 新開成中学校・新陽明中学校再編準備委員会

と き 令和4年11月8日(火)
午後7時より

ところ 結とぴあ 305・306号室

1 開 会

2 開会あいさつ

3 議 事

(1) 部会報告

① 新開成中学校 総務部会

② 新陽明中学校 総務部会

③ P T A部会 (合同)

④ 学校運営部会 (合同)

⑤ 新開成中学校 通学安全部会

⑥ 新陽明中学校 通学安全部会

(2) その他

・学校改修実施設計等の進捗状況の報告

4 そ の 他

次回開催予定時期 令和5年2月頃

5 閉会あいさつ

<出席者>

新開成中学校再編準備委員会

委員長	伊藤	藤田	久美男
副委員長	森西	本藤	律男
委員	齋松	谷茂	廣雅
委員	松笹	嶋慎	雅彦
委員	奥村	知光	樹吾
委員	村上	祐子	樹吾
委員	松本	成玄	樹吾
委員	広瀬	泰司	樹吾
委員	増田	善宏	樹吾
委員	古川	和典	樹吾
委員	明石	由美	樹吾
委員	竹内	智之	樹吾
委員	廣瀬	弘司	樹吾
委員	菅原	貴弘	樹吾
委員	山中	昌嗣	樹吾
委員	長谷川	秀樹	樹吾
委員	飯田	吉則	樹吾
委員	川端	英郁	樹吾

新陽明中学校再編準備委員会

委員長	山野	村尻	宗武
副委員長	森米	村内	奈生
副委員長	竹尾	山水	忍之
委員	清中	水村	大策
委員	中大	石生	勝也
委員	羽古	川	啓宏
委員			あけ美
委員			貴昭
委員			裕美
委員			勝

委員
委員

竹下竹婦多婦土高青大新山泉
内口内山田山藏村木石井田脇
由真砂典成直信清光知美弥大善貴
美代夫子史幸治昭代子志信之

事務局

教育長
事務局長
教育総務課長
教育総務課課長補佐
教育総務課小中学校再編推進主幹
教育総務課主査
教育総務課主事

久保俊岳
真田正幸
指岡哲郎
小林勝信
小藤孝実
齊宮友介
宮村友介
篠原由

<傍聴者>

なし

【開会】

【課長】第2回新開成中学校・新陽明中学校再編準備委員会を開会する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【開会あいさつ】

【新開成委員長】本日は2回目の準備委員会ということで、新開成および新陽明の合同での開催として案内させていただいた。第1回目が6月2日に行われたが、その後に各部会において協議を重ねてきていると思う。各部会で協議されたことを尊重しながら、最終的には再編準備委員会にて承認していただくことになっている。

本日は新開成中と新陽明中の両方の部会から進捗の報告をいただき、意見を聞きながら最終的には承認できたらと思うのでよろしくお願ひしたい。

生徒のことを第一に考えながらより良い再編となるよう、みなさんのご協力をお願ひし、挨拶とする。

【教育長あいさつ】

【教育長】子どものために学校があり、子どものために教師がいて、子どものために教育があるというように表現してくれた私たちの大先輩がいる。今日はお忙しい中、お疲れの中で足を運んでいただき感謝する。

第1回の準備委員会から5か月が経過し、その間に各部会や地区、そしてPTAで議論を積み上げていただいたことに感謝する。4つの部会で多くの懸案事項の解決に向けた取り組みは全て子どもたちの日々のことに直結するものばかりである。ただ、5つの学校の独自の文化を融合して、新しい文化を作ろうとする試みなので、まさに生みの苦しみだと考えている。令和6年度から彼らがその上に自らの力で新しい花を咲かせていく、その基盤づくりをしていただいていると思っている。

ソフト面だけでなくハード面である学校の改修も並行して進めている。後ほど事務局から進捗状況をお知らせしたい。未来志向の学び舎づくりをしっかりと進めている。

学校の外に目を向けると、代表的な課題が部活動の地域移行である。大野市は国のモデル事業に申請し、いち早く取り組みを進めている。進捗についても来たるべき時にお知らせしたい。このように学校再編を大野の新しい教育環境づくりの大きなチャンスとして総合的に進めているところである。また、準備委員会の所掌以外の相談も受けており、そういったことも含めて、10年後、20

年後を見据えて英知を結集して進めていきたい。最初に申し上げた、子どものために学校があり、子どものために教育があるということをしっかり胸に秘めながら精進していく。

【課長】本日出席の事務局職員を紹介する。

——<事務局自己紹介>——

【再編準備委員会の趣旨等の確認】

【事務局】資料1を見ながら第1回再編準備委員会のおさらいをする。

——<事務局説明>——

〈説明概要〉

- ・中学校の再編にあたり、保護者、地域及び学校が協働して再編の準備や諸課題について協議を行う。
- ・学校再編準備委員会の役割は部会の協議の経過や結果の報告を受けて、協議及び承認を行う。また、準備委員会の結果については教育委員会に報告する。
- ・準備委員会を効率的に運営するため、総務部会、P T A部会、学校運営部会、通学安全部会の4部会を設ける。
- ・各部会は協議の経過及び結果を準備委員会に報告する。

【新開成委員長】ご質問等があればお願いします。

(質問なし)

【議事】

【新開成委員長】部会報告を今から行う。今回は合同開催なので各部会報告、質疑応答、承認という流れで進める。合同で開催してきた部会については合同での報告となる。承認は、部会ごとに該当の準備委員会での承認とする。ただし、合同での報告の場合は、合同での承認の形をとる。承認は挙手にてお願いします。はじめに新開成中学校総務部会の報告を求む。

【新開成総務部会長】新開成中学校総務部会では、これまで3回の部会を開催した。6月2日の第1回の準備委員会の後に第1回の部会を開催し、部会長に私(齋藤)、副部会長に菅原委員を選出し、8月2日に第2回の部会、10月4日に第3回部会を開き、中学生が地区行事に参加しやすい環境づくりや統合事業実施の有無、空き校舎跡地利用について話し合いを進めてきた。

(主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり)

以上を新開成中学校総務部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新開成委員長】新開成中学校の報告だが、意見や質問等は新開成中学校の委員のみで良いのか。

【事務局】今回は情報共有や意見交換を円滑に行うために合同で開催しているため、新陽明中の委員も質問や意見をして良い。

【新開成委員長】ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

——<質問なし>——

【新開成委員長】それではただいまの報告の結果について、新開成中学校再編準備委員会委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新開成委員長】挙手多数で承認された。

【新陽明委員長】次は新陽明中に関することになるので私が進行する。新陽明中学校総務部会の報告をお願いします。

【事務局】部会長と副部会長が欠席のため、代理で事務局から報告させていただきます。新陽明中学校総務部会では、これまで3回の部会を開催した。6月10日の第1回準備委員会の後に第1回の部会を開催し、部会長に嶋田委員、副部会長に田中委員を選出し、7月28日に第2回の部会、9月28日に第3回部会を開き、中学生が地区行事に参加しやすい環境づくり、統合事業実施の有無、空き校舎跡地利用について話し合いを進めてきた。

(主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり)

以上を新陽明中学校総務部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新陽明委員長】ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

——<質問なし>——

【新陽明委員長】それではただいまの報告の結果について、新開成中学校再編準備委員会委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新陽明委員長】挙手多数で承認された。

【新開成委員長】次にP T A部会の報告をお願いします。なおP T A部会は合同での報告とする。

【新開成P T A部会長】P T A部会では、これまで4回の部会を開催した。それぞれ第1回の部会の後にP T A部会を開催し、新開成中部会では部会長に私(奥村)、副部会長に増田委員、新陽明中部会では部会長に多田委員、副部会長に高村委員を選出した。8月8日に第2回の部会、9月20日に第3回、10月19日に第4回をいずれも合同で開催し、P T A規約の比較や令和6年度の制服、体操服の在り方について検討を行ってきた。検討を進めるうえで参考とするため、アンケートも実施した。アンケート結果からは、新しい制服を望む声、ジェンダーレスの考え方、従来の制服を支持する声などいろいろな声をいただいた。P T A部会としては、保護者負担の軽減、新生の考え方を踏まえて、令和6年度の制服、体操服については、検討を続けていきたいと考えている。

(主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり)

以上をP T A部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新開成委員長】 ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

【委員】 制服や体操服について、子どもたちの意見を取り入れることについてどのように考えているかお聞きする。

【新開成PTA部会長】 アンケートを取ってみたが、子どもたちにとって新しい制服に対して実感がないようである。時間はかかってしまうが、違った形のアンケートや

学校での説明、子どもたちの対話の中で出た意見を取り入れていきたい。

【新開成委員長】 それではただいまの報告の結果について、新開成中学校と新陽明中学校の両委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新開成委員長】 挙手多数で承認された。次に学校運営部会の報告をお願いします。なお学校運営部会は合同での報告とする。

【新陽明学校運営部会長】 学校運営部会では、それぞれの準備委員会後に第1回の部会を開き新開成中部会では、部会長に長谷川委員、副部会長に広瀬委員、新陽明中部会では、部会長に私（土藏）、副部会長に大石委員を選出し、7月21日に第2回の部会、10月25日に第3回の部会をそれぞれ合同で開催した。まずは保護者の方が不安に考えていることを検討していくことになった。生徒の事前交流や生徒指導面について話し合った。

(主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり)

以上を学校運営部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新開成委員長】 ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

——<質問なし>——

【新開成委員長】 それではただいまの報告の結果について、新開成中学校と新陽明中学校の両委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新開成委員長】 挙手多数で承認された。次に新開成中学校通学安全部会の報告をお願いします。

【新開成通学安全部会長】 新開成中学校通学安全部会は6月2日の第1回準備委員会後、第1回の部会を開き、部会長に私（山川）、副部会長に飯田委員を選出した。8月1日に第1回の部会を合同で開催し、スクールバスの運行基準について検討を行った。26日の第3回の部会はスクールバス運行基準案に合わせて、ルート案の検討を行った。

(主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり)

以上を新開成中学校通学安全部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新開成委員長】 ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

——<質問なし>——

【新開成委員長】 それではただいまの報告の結果について、新開成中学校再編準

備委員会委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新開成委員長】 挙手多数で承認された。

【新陽明委員長】 次に新陽明中学校通学安全部会の報告をお願いします。

【新陽明通学安全部会長】 新陽明中学校通学安全は6月10日の第1回準備委員会後に第1回の部会を開き、部会長に私（森）、副部会長に泉脇委員を選出した。8月1日に第2回は合同で開催し、スクールバスの運行基準について検討しました。9月27日の第3回は、運行基準案に合わせてルート案の検討を行った。

（主な意見と協議の結果については資料2の部会報告のとおり）

以上を新陽明中学校通学安全部会の報告とし、準備委員会の承認をいただきたい。

【新陽明委員長】 ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

——<質問なし>——

【新陽明委員長】 それではただいまの報告の結果について、新陽明中学校再編準備委員会委員の承認をいただく。承認する方は挙手をお願いします。

——<挙手多数>——

【新開成委員長】 挙手多数で承認された。報告は以上となるので議事の（2）その他について何かあるか。

【課長】 事務局から学校改修実施設計等の進捗状況について報告させていただく。教育委員会では、令和5年度から小中学校再編計画及び小中学校施設管理計画に基づき下庄小学校、開成中学校及び陽明中学校の長寿命化等の大規模改修工事を計画しており、令和4年度に3校の実実施設計業務に取り組んでいる。

実施設計業務では、豊富な実績と専門的な知識に基づいた魅力ある技術提案を受けるために、5月から公募型プロポーザル方式により設計者を募集し、受託者選定委員会において最優秀提案者を選定し、8月中旬には委託契約を締結している。受託者の選定委員会の委員は10名おり、福井工業大学環境情報学部デザイン学科の藤田准教授が委員長である。

プロポーザルの経過としては4月18日に第1回選定委員会の開催、5月10日に募集の公告、6月9日に第2回選定委員会を開催し、一次審査を実施、7月13日と14日に二次審査を行った。プロポーザル選定結果については開成中学校は東畑・西川開成中学校改修実施設計業務委託設計共同体が最優秀提案者となった。

講評概要としては、「柔軟かつ創造的な学びの場が提案されていた」「長寿命化改修内容への理解も深く、豊富な実績に基づく実務能力が高く評価された」

「開成中学校への思いや、気候風土への対応の消極さが懸念された」といった意見があった。陽明中学校も東畑・西川陽明中学校改修実施設計業務委託設計共同体が最優秀提案者となった。講評概要としては、「柔軟かつ創造的な学びの

場が提案されていた」「長寿命化改修内容への理解も深く、豊富な実績に基づく実務能力が高く評価された」「陽明中学校の独自性が感じにくく、地元設計者との連携に不安が残る」といった意見があった。下庄小学校は下庄小学校改修実施設計業務センボー・竹内設計共同体が最優秀提案者となった。講評概要としては、「子ども達が集う場として、中庭の増築の大胆なアイデアが評価された」「長寿命化改修内容や工程計画で、児童への配慮が十分に検討されていた」「普通教室や学年室の使い方、避難動線、教員の働く環境については課題がある」といった意見があった。なお、選定結果などについては市ホームページ上に掲載されている。

実施状況として、開成中学校と陽明中学校についてはこれまで教職員を対象に2回ワークショップを実施している。11月以降には生徒を対象にしたワークショップの開催を予定している。下庄小学校について毎週1回打ち合わせを行い、実施設計を行っている。また、児童に学校改修に関するアンケートを実施し、意見を徴集している。

【新陽明委員長】 ただいまの報告に対する質問や意見があればお願いします。

【委員】 プロポーザル結果の講評について、開成中学校の「開成中学校への思いや、気候風土への対応の消極さが懸念された」と陽明中学校の「陽明中学校の独自性が感じにくく、地元設計者との連携に不安が残る」とはどういうことか。抽象的でよくわからない。

【課長】 開成中学校の講評については開成中学校には独自の学校風土があるが、そういったものがプレゼンテーションで感じられなかった、降雪への対応に課題があるといった意見だった。陽明中学校については、設計の内容に独自性が感じられなかったという意見だった。

【委員】 講評の内容に具体的なことが書いてないからわからない。

【局長】 プロポーザル方式は価格だけで評価するのではなく、期待できる効果や提案者の経営状況も含めて提案書を審査して決めていくものである。プロポーザルの段階で詳細な実施設計が行われているわけではないため、抽象的な講評となっている。出来上がったものを評価するコンペティションと違い、アイデアや能力を評価するものであり、具体的なことは実施設計として今から決めていく。講評にある課題については打ち合わせを経て実施設計に反映させていく。

【新開成委員長】 他にないようなので議事を終了する。

【事務局】 次回の開催予定時期について令和5年2月とさせていただきたい。開催方法としては今回と同じ合同開催の方向で考えている。

【閉会あいさつ】

【新陽明委員長】 子どもたちは地域の宝であり日本の未来だと思っている。その子どもたちが通う学校をととても大切にしなければならない。未来を背負う子供

たちの学校づくりに携われることは幸せなことだと思っている。令和6年4月から新しい中学校に通う生徒の幸せを願いながら準備委員会を進めたい。みなさまの知恵と協力をいただきたいのでよろしく願います。